タブレットを活用した現地確認作業の省力化について紹介します

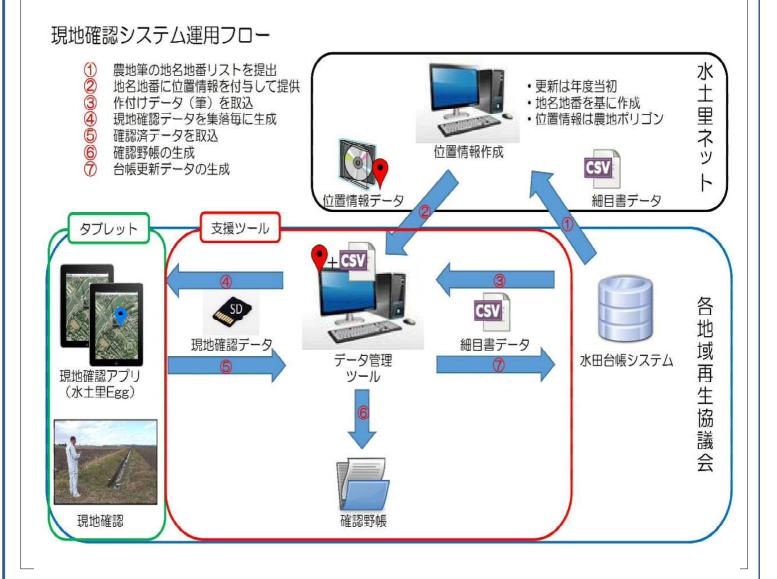
今回紹介する団体: 県農業再生協議会および各地域農業再生協議会

取組概要

内容: 水土里情報で整備した農地筆を活用して、経営所得安定対策における作付 農地の地図化を行い、タブレットを用いて現地確認を行う仕組みを提供した。

経緯: 各地域農業再生協議会もしくは集落で現地確認用の地図を毎年度作成しており、その労力は多大なものとなっていた。また、現地確認時に地図が間に合わない場合、集落の案内がないと圃場の位置が判らないことがあった。

・地図作成および確認作業の省力化を行うべく、県農業再生協議会の依頼のもと、タブレットアプリおよび支援ツールの開発・提供を行った。



取組による効果

- ■タブレット上で確認したい圃場が把握できるようになったため、事前作業である 地図作成を省力化出来、集落の案内も不要となった。
- ■面上で確認を行った旨の識別(色分け)が出来るため、確認もれを抑制出来るようになった。
- 実際の作付内容と異なる場合でも、タブレット上で容易に修正出来るため、帰 庁後の整理が省力化され、水田台帳への反映も容易に出来るようになった。



属性画面(作付内容の確認・修正)

今後の活用予定

衛星画像を活用した現地確認のさらなる省力化を目指す。

GISシステムのバージョン情報

タブレットアプリ:水土里Egg (Android)

支援ツール:県独自(スタンドアロン)

■お問い合せ先

福井県土地改良事業団体連合会 事業部 システム管理課 0776-23-7775 (直通)